

資料番号	4
------	---

令和5年5月29日
課名 土木建築局技術企画課
担当者 課長 秋本
内線 3852

令和5年5月豪雨等に伴う公共土木施設災害の発生状況について

1 要旨・目的

令和5年5月豪雨等による公共土木施設の被災状況について報告する。

2 現状・背景

5月6日からの降雨の状況は次のとおり。

(1) 累積雨量の多い主な地点（5月6日4時～5月7日5時）

市区町	観測局	累積雨量 (mm)
広島市安佐南区	祇園山本(ぎおんやまもと)	221.0
廿日市市	中山(なかやま)	192.0
神石高原町	下豊松(したとよまつ)	143.0

(2) 時間雨量の多い主な地点（5月6日4時～5月7日5時）

市区町	観測局	時間雨量 (mm)	観測時間
呉市	宇和木(うわぎ)	22.0	5/6 20:50
広島市佐伯区	五月が丘(さつきがおか)	20.0	5/6 19:30
三原市	下徳良(しもとくら)	20.0	5/7 00:50

3 概要

(1) 対象者

被災された県民・事業者等

(2) 事業内容

5月までの豪雨による災害の発生状況は表のとおり。

(単位：千円)

災害 (発生日)	区分	県		市町 (広島市を除く)		合計		備考
		箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	
4月豪雨 (4月19日)	道路			3	161,800	3	161,800	国への 災害報告額
	小計			3	161,800	3	161,800	
5月豪雨 (5月6日～7日)	河川	9	63,700	9	61,400	18	125,100	国への 災害報告額
	道路	1	144,000	8	145,000	9	289,000	
	小計	10	207,700	17	206,400	27	414,100	
合計		10	207,700	20	368,200	30	575,900	

※公共土木施設災害復旧事業の採択要件：1箇所の工事の費用が県120万円以上、市町60万円以上。

※国への災害報告時点等の箇所数及び金額は、今後変動する可能性がある。

(3) 今後の対応

ア 4月豪雨については6月13～14日、5月豪雨については可能な限り早期に災害査定を実施する見込み。

イ 応急対応が必要な箇所については、必要な対策を実施しており、早急に復旧工事に着手する必要がある箇所については、災害査定を待つことなく着手する。

※災害査定では、公共土木施設管理者の国庫負担申請を受け、被災現場において、査定官（国土交通省）、立会官（財務省）、申請者（県・市町）の三者合意により、復旧の範囲、工法及び金額が決定される。

4 市町別の公共土木施設災害の発生状況

(1) 4月豪雨

(単位：千円)

区分		県		市町（広島市を除く）		合計	
事務所	市町	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
東部				3	161,800	3	161,800
	府中市			1	1,800	1	1,800
	神石高原町			2	160,000	2	160,000
合 計				3	161,800	3	161,800

(2) 5月豪雨

(単位：千円)

区分		県		市町（広島市を除く）		合計	
事務所	市町	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
廿日市				1	96,000	1	96,000
	大竹市			1	96,000	1	96,000
東広島		5	46,300			5	46,300
	東広島市	5	46,300			5	46,300
東部		5	161,400	9	71,400	14	232,800
	府中市			7	59,400	7	59,400
	神石高原町	5	161,400	2	12,000	7	144,500
三原				7	39,000	7	39,000
	三原市			5	28,200	5	28,200
	尾道市			2	10,800	2	10,800
合 計		10	207,700	17	206,400	27	414,100